

要 望 書

令和6年11月6日

一般社団法人 苫小牧建設協会

要 望 趣 意 書

日頃より、地元建設業界に対しまして、格別のご理解とご支援並びにご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

元日に能登半島地震が発生し、地域に甚大な被害が起きています。

苫小牧市は、日本海溝・千島海溝沿いで想定される巨大地震に備え、「地震防災対策推進地域」に指定され、中でも大きな被害が見込まれる「特別強化地域」に含まれており、市民の命と暮らしを守るため、早期に防災・減災への取り組みが必要であると考えております。

また、今年も気象変動に伴う線状降水帯発生などによる集中豪雨が日本各地で激甚災害を及ぼしており、防災・減災対策が強く求められています。

地域建設業は、地域の社会資本整備や維持管理のみならず、災害時には最前線で災害対応を担う「地域の守り手」とであるとともに、市民生活や地域経済、雇用を下支えする基幹産業として重要な役割を担っています。

そんな建設業の現在は、ウクライナ情勢や円安により資材価格高騰、労務費の上昇等により厳しい経営状況にあります。

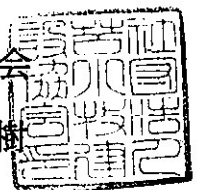
地域建設業が、継続的にその社会的使命を果たしていくためには、健全で安定した経営を継続していく必要があり、安定的・持続的な事業量の確保が必要です。

従いまして、一般社団法人苫小牧建設協会会員の総意として、次のとおり要望いたしますので、特段のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和6年11月6日

一般社団法人 苫小牧建設協会

会 長 宮 崎 英 樹



市 要 望 事 項

1 I R構想の強力で継続的な推進

2 災害に強いまちづくりの構築

- (イ) 津波浸水予測に基づく津波対策の強化(津波危険区域に避難施設を早期増設)
- (ロ) 構築年数が経過した構造物への耐震対策の強化継続
- (ハ) 急傾斜地等の土砂災害対策の早期構築
- (ニ) 緊急車両の動線や市民の避難路確保及び周知の継続(市道舗装道路の平坦性改善拡大)
- (ホ) 浸水・冠水対策の強化
- (ヘ) 台風・暴風による倒木対策
- (ト) 通行車両の安全確保のための鹿対策

3 苫小牧東部地域へのラピダス関連企業等の誘致及び地元企業の活用

4 都市環境の整備促進

- (イ) 市道東部南通線(臨港道路 東港南通) 勇払橋架替及び道路拡幅の早期実現
- (ロ) 美沢錦岡通の道路整備促進(道道昇格への要望・継続)
- (ハ) 植苗・美沢土地利用計画の整備促進
- (ニ) J R線新千歳空港駅から苫小牧方面への増便などアクセス向上
- (ホ) 駅周辺ビジョンと居住促進を含めた都市再生について早期実現に向けた取り組みの強化
- (ヘ) 苫小牧登別通(仮称)道路整備の早期実現(道道昇格への要望・継続)

5 令和7年度公共事業の予算枠拡大並びに発注時期の平準化

6 発注工事に関する改善

- (イ) 土木・建築工事におけるあらゆる発注工事の地元企業の活用
- (ロ) 働き方改革推進に向け週休2日制完全実施と余裕ある工期の設定
- (ハ) 労務単価、建設資機材の実勢価格の把握と反映(見積活用方式・単品スライド等の活用)
- (ニ) 工事現場業務の効率化(DX化・小型コンクリート構造物のプレキャスト化)の検討